

英米文 学会会報

第35号

平成10年5月25日版

◆第97回例会および総会開催のお知らせ

標記の例会を下記の要領にて開催します。

◆開催年月日：平成10年6月20日（土）

◆開催場所：日本大学歯学部3号館（お茶の水ニコライ堂隣）

◆時間：15:00～17:00 受付 14:30～

総会：17:00～ 懇親会：18:00（懇親会のみのお出席も歓迎します）

研究発表

1. 日本の雑誌広告のテキスト分析

---家庭生活誌における「夫」と「妻」の語彙選択を中心に---

井上愛子（慶応義塾大学）

司会 吉原 令子（法政大学）

2. 創造か進化か---アメリカの小さな町ヴィスタの教育論争、1992-94---

鶴浦 裕（札幌大学）

司会 大東 俊一（法政大学）

◆第97回例会研究発表レジメ

1. 日本の雑誌広告のテキスト分析---家庭生活誌における「夫」と「妻」の語彙選択を中心に---

井上愛子

アメリカでの雑誌広告に見られる女性のステレオタイプを分析した研究と照らし合わせ、主として日本の家庭生活誌の広告テキストを対象に女性の表現のされ方を見ていく。特に「夫」と「妻」の語彙選択に焦点をあてて、英字新聞のテキスト分析をした Kitis と Milapides (1997) の研究を参考としてテキスト分析には Tannen (1979) の提唱する分析方法を用いた。分析結果より多様な女性の姿が浮かび上がり、ステレオタイプのみならず反ステレオタイプの女性像が確認された。「言語はときに性差別文化を反映し概念や推測を伝える媒体として常に談話のなかで使用されるうちに馴染んで習慣化されてしまうため本来の意味を見落としてしまう」と Cameron (1991) は言っている。とりわけ雑誌広告は使用されることばと視覚的効果が相互に作用して強い影響を与えると考える。「夫」と「妻」の呼称については意識を高め時代と共に変化が起こることを期待する。

2. 創造か進化か---アメリカの小さな町ヴィスタの教育論争、1992-94---

鶴浦 裕

アメリカでは1987年の最高裁判決により公立学校の科学の時間に創造論を唱道することはできなくなった。しかし90年代にはいってもこの決定を無視するかのような事件が各地でフレアー・アップしている。報告ではカリフォルニア州の田舎町で起きた一つの事件を紹介する。1992年11月大統領選挙と同時に起こされた教育委員選挙により、カリフォルニア州ヴィスタ統合学区の教育委員会がキリスト教創造論者に乗っ取られた。5議席のうち3議席が創造論者によって占められたのである。彼らは同学区のカリキュラムに生物進化論批判と「創造科学」を持ち込むためにいろいろな方策を試みたが、そのたびにリベラルな市民や教員との対立を深めていった。その過程で創造論教育の問題だけでなく、性教育や移民の子弟教育の問題も対立の原因となった。しかしいずれも話し合いで解決することができず、最終的に教員組合が資金力とマンパワーにものをいわせ、創造論委員をリコールしてしまうという最悪の結果を招いた。この事件を追いかけることで、創造論者という日本ではあまり知られていないアメリカ人像にせまり、同時に「創造 vs 進化」論争がアメリカの小さな町でどのような形をとるのかを明らかにしたい。

◆会員による出版・執筆

1. 石原万理分担執筆：高田康成・河合祥一郎・野田学編『シェイクピアへの架け橋』東京大学出版会
(2,900円)
2. 君塚淳一分担執筆：日本マラマッド協会編『映像文学にみるアメリカ』紀伊国屋書店
(3,400円)

◆分科会会員公募（対象者は学会員のみ）

このたび、英語コーパス研究の第11分科会を発足します。コンピュータを使用して、言語資料（コーパス）を編纂、分析していきます。語彙、語法、文体研究など、言語学、英語教育学、文学等、それぞれの専門分野を活かしながら研究を進めていきたいと考えています。コンピュータもコーパスもよくわからないのですが、という方も歓迎します。ご興味のある方はご連絡下さい。

連絡先 伊東田恵 ・/・ 0467(85)1738 E-mail: VZQ05513@niftyserve.or.jp

◆事務局からのお知らせ

1. 新入会員

2. 住所変更・訂正

◆第16回大会開催のお知らせ（English-speaking members, info for Hokkaido Conference follows!）

標記の大会を以下要領にて開催します。

- ◆開催年月日：平成10年8月28日(金)・29日(土) 受付開始 28日 12:30 29日 8:30
 - ◆場 所：東京農業大学生物産業学部(オホーツク・キャンパス)
〒099-2422 北海道網走市字八坂196
 - ◆宿 泊 先：オホーツク渚亭
 - ◆懇 親 会：オホーツク渚亭1階宴会場（28日18:00—20:00）
- 学会による宿泊、航空機予約サービスについては同封の振込み票を御使用ください。

提供する宿泊先、航空機便以外が必要な会員へのサービスは致しかねますのでご了承ください。

研究発表および講演

第1日 8月28日(金) 13:00-15:30

1. 世代差からとらえた英米借用語受容とコミュニケーション・ブレイクダウンとの相関関係

浅間正通 (静岡大学)

高取康之 (玉川大学)

2. シェイクスピア・レシピ

越智敏之 (千葉工業大学)

3. 「社会言語学的能力」の観点から見た「オーラルB」インプットの考察

藤田牧子
(神奈川県立衛生短期大学付属二俣川高校)

4. 超絶と実存—その交点を求めて

長坂 昇

(昭和女子大学短期大学部)

5. 高等学校リスニング教科書の言語機能分析

平川敦子 (城西大学)

第2日 8月29日(土) 10:30-15:00

1. Speaking taskにおける Learning Strategies

木村みどり (城西大学)

2. ラフカディオ・ハーンの仏教観

大東俊一 (法政大学)

3. コンピュータはESP教材作成にどのような貢献ができるのか

鳥飼慎一郎 (立教大学)

4. マーガレット・フラー：もう一つのペルソナ
—イタリア・リソルジメントへの軌跡—

上野和子 (昭和女子大学)

講演：大島 良行(専修大学教授)

演題：漫画『スーパーマン』の誕生

当日会費：会員 1,000円 一般 500円 学生 300円

第16回大会事務局：佐藤英語研究室 〒101-8310 千代田区神田駿河台1-8-13

日本大学歯学部 電話 03-3219-8160 ファックス 03-3219-8333

英米文化学会第16回大会

◆宿泊・飛行機等の予約

日時 平成10年8月28日(金)、29日(土)

場所 東京農業大学オホーツク校

〒093-0033 北海道網走市駒場北1-3-24-201

宿泊一泊(オホーツク渚亭) 12,000円

航空券代(往路) 22,000円(8月28日金曜日)

航空券代(帰路) 23,000円(8月30日日曜日)

貸し切りバスツアー 4,000円(8月30日日曜日)

第1プラン(学会おすすめプラン)

合計73,000円

飛行機往復 45,000円

渚亭2泊 24,000円

貸し切りバスツアー 4,000円

第2プラン(29日宿泊は個人で予約)

合計57,000円

飛行機往復 45,000円

渚亭28日1泊 12,000円
第3プラン(29日宿泊と帰路飛行機は個人で予約) 合計34,000円
飛行機往路のみ 22,000円
渚亭28日1泊 12,000円

予約締め切り——郵便振込で6月23日(火)までに合計金額を下記の口座に払い込んで下さい。

加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

郵便振込用紙の通信欄に御希望のプラン番号、そして飛行機の予約上必要な氏名(カタカナ書きフルネーム)、年齢、御自宅の電話番号をお書き下さい。宿泊だけを希望する等ありましたら、その旨を通信欄に御記入の上金額を払い込んで下さい。金額の振込が確認されました時点で予約受付と致します。

締め切りが早く予定のたたない方もおられるかもしれませんが、夏のことであり早めに人数を確定し、予約を取りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

参加御希望で予定がまだはっきりしないかたや、御質問等ありましたら、財務の石川郁二理事(TEL 0492-95-0346)まで御連絡下さい。

オホーツク渚亭・・・オホーツク海の向こうに知床連山を望む景勝の地にあります。網走でも高級な旅館タイプの渚亭は、網走市内ではなく能取(のどろ)岬のニツ岩にあり、クリオネの飼育に初めて成功したオホーツク水族館が近くにあります。渚亭最上階のお風呂で知床半島に昇る朝日を見るのも一興かと思えます。シングルはなく、2人部屋か3人部屋になりますのでお含みおき下さい。尚、大学への行き帰りは渚亭がバスをだしてくれることになっています。

航空機便(羽田空港——女満別空港)・・・行きは8月28日

JAL537便羽田発午前8時55分、女満別着10時35分です。団体チケットですので羽田空港の出発ロビー中央午前8時集合となります。帰りは8月30日

JAS188便女満別発午後7時、羽田着8時45分の予定です。

通常運賃は片道31,050円です。席を個人で予約なさるかたは、夏期間ですので早めに予約をしませんと席がなくなるかと思えます。

学会予約で、女満別空港まで1時間40分の空の旅を皆さん一緒にいかがですか。女満別空港から大学まではバスを用意する予定です。

バスツアー・・・学会が終わった翌日に道東のバスツアーを計画しています。55人乗り大型貸切バスを一台チャーターする予定でバスガイドさんも添乗します。金額はこの時期の道東コースではかなり安くなっています。コースは、小清水原生花園、摩周湖、阿寒湖、美幌峠の予定です。他にどこか寄りたい場所で希望が多ければ、旅行会社と交渉してみます。オホーツク渚亭を30日(日)の朝出発し、女満別空港まで行ってくれますので、帰りの飛行機の時間を心配することなく、ゆっくり道東の夏を観光できます。

懇親会・・・オホーツク渚亭での28日夜の懇親会は美味しい北海道を満喫できるものと思います。カニの食べ放題になるかもしれません。大会発表者、参加者そして会場校のかたとの親睦を深めたいと思います。宿泊を渚亭以外で予定されているかたには帰りが面倒になるかもしれませんが、年一回の大会での懇親会ですので、御参加宜しくお願いします。懇親会代は5,000円です。当日お支払い下さい。皆様の御参加をお待ちしております。

英米文化学会会報 第35号 編集・発行：英米文化学会編集委員会＝池田 広子、小川 喜正、岸山 睦、武井 朗子、中村 豪、宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者： 中村 豪 〒

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫

学会ホームページ <http://www.threeweb.ad.jp/~shakey23/>